

# 令和6年度 放課後等デイサービス りびえーる 自己評価表

単位 (%)

(令和7年 3月15日現在)

チェック項目		はい	いいえ	回答無	工夫している点	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0	0.0	0.0		指導訓練室は国の指定基準の床面積(2.47m/人)で言うと20人分になります。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80.0	20.0	0.0		保育士等を常時2名以上は配置しています。 研修等により今後も専門性を高めています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100.0	0.0	0.0		玄関はスロープが設置されており、屋内のバリアフリー化はなされています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.0	0.0	0.0		指導訓練室には、常時物を置かないようにしておあり、子ども達が毎回新しい気持ちで事が始められる様にしています。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0	0.0	0.0		子どもが一人になれるクールダウンルームがあります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.0	0.0	0.0		個別支援計画を基に、毎日の支援開始前のミーティングにて業務の振り返りと軌道修正をしています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0	0.0	0.0		保護者等向けアンケートについては毎年行います。又、担当者会議・面談等はもとよりLINEなどにより保護者様の意向等は伺っております。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0	0.0	0.0		毎日のミーティングにて、現在の問題点とそれに対する解決策を皆で話し合い改善に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0.0	100.0	0.0		外部による評価は実施していませんが、今後機会があれば積極的に実施していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0	0.0	0.0		講師を招き研修を開催したり、外部研修への参加者が職場内での勉強会で発表する事により全職員の資質の向上を図っています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.0	0.0	0.0		月末に次月のプログラムを保護者に配布しています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100.0	0.0	0.0		個別支援計画を作成する際は、適切にアセスメントを行った上で作成しています。 その際、各個人のサービス等利用計画を確認し、保護者様とも直接やり取りを行って利用者様の強みや希望・課題、保護者様の要望等を照らし合わせながら計画を作成しています。 また、完成したものは保護者様へ内容を説明し、同意のもとに支援を行います。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0	0.0	0.0		計画を立てる際には、ミーティングの時に全職員の意見を聞き、意見を参考にすることを心掛けています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.0	0.0	0.0		サービス提供記録に各児童の支援目標が記載されており、毎日支援内容を確認しながら支援を行っています。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.0	0.0	0.0		契約前のアセスメントシートに、受け入れ前の児童の状況の詳細を記載していただき、契約後はサービス提供記録に各利用日の児童の状況を職員が記載するようにしています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0	0.0	0.0		5領域を含めた個別支絵計画になっております。「移行支援」につきましては、これから力を入れて行きたいと考えております。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.0	0.0	0.0		日々の活動、週ごとの活動、月ごとの活動について、各利用者様の状況を見て、全職員で話し合っています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.0	0.0	0.0		室内で出来る季節の物を取り入れたり、色々な活動を試み、利用者様の反応が良かったものについては、別の月に取り入れたりしています。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100.0	0.0	0.0		工作、運動、季節行事などのイベントを集団活動として行っていますが、利用者様によっては個別に対応するなどしています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0	0.0	0.0		支援前のミーティングにて、活動や支援の流れ、役割分担についての確認を行っています

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60.0	40.0	0.0	支援終了後、ケース記録にその日の内容の記録しています。 また、次の日のミーティングで情報の共有を図り改善に繋げていける様にしています。
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0	0.0	0.0	業務日誌、ケース記録及び連絡帳に正しく記録をとり、検証や改善に繋げていける様にしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0	0.0	0.0	児発管が、個別支援計画作成後に、定められた期間毎（6ヶ月）に保護者様と面談等にて家庭での状況の確認を行い、ケース記録及び日々の報告を基に見直しかけ継続かの判断を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100.0	0.0	0.0	同時に複数の基本活動を盛り込む事は難しいですが、長期休暇等も含め、長期的にみて複数組み合わせた支援が行える様に努めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0	0.0	0.0	リクエストディを最低でも一回／月設けており、こども達が自分がやりたい事を発言できるようにしています。また、集団プログラムの後の自由時間も自由に遊びたいものを選択できるようにしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0	0.0	0.0	相談支援員と連絡を密にし、事前に情報をを集め、学校関係者や他事業所も含めて会議を行うよう努めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0	0.0	0.0	現在、関連機関と連携して支援を行う体制は整えられていませんが、関係機関と調整して行きたいとは考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	60.0	40.0	0.0	契約が行われた場合は、学校側と話し合いを行い、週末に次週の行事及び終業時間の予定表を頂く様にしています。 また、不明な点があれば担任の先生に直接確認を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100.0	0.0	0.0	現在対象となる児童が居ない為情報共有の実績はありませんが、今後新生となる児童に対しては、情報共有に努めたいと考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60.0	40.0	0.0	未だ就業する卒業生がおらず、卒業後の対応をした事がありません。 今後、障害福祉サービス事業所等に移行される方が出てきた場合には、情報提供を行い関係機関と連携をとっていきたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100.0	0.0	0.0	放課後等デイサービスが集まる交流会（協議会）には積極的に参加したいと考えています。 市や県が主催する研修にも参加しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60.0	40.0	0.0	現在交流を主としての活動は行っていませんが、近くの公園に出掛けた際は、居合わせた地域のこども達と自主的に活動を共にすることもあります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0	0.0	0.0	会議が開催される場合は、児発管が主に参加します。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0	0.0	0.0	保護者様とは連絡帳を通して自宅での様子、施設での様子のやり取りを行っています。特に気になった点などがあれば送迎の際に口頭でお伝えする場合もあります。 また、面談等を活用し、情報の共有や課題等について共通理解できるよう努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0.0	100.0	0.0	現在、専門的な支援としてペアレントトレーニングは行っていません。 今後専門的な職員向けの研修などの機会があれば積極的に参加したいと考えています。
保護者への説明責任	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0	0.0	0.0	利用前の見学や契約の際に、施設の紹介や放課後等デイサービスの支援内容、活動内容および利用料の説明を行っています。 また、重要事項説明書等に変更があれば文書にてお知らせする様にしています。 今後も継続して解りやすい説明に努め、即時対応に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0	0.0	0.0	保護者様と直接会って意見を聞ける様に心掛けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0	0.0	0.0	上記の個人面談の際に、保護者様の意見を取り入れた計画をたてる様に心掛けています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0	0.0	0.0	面談でお話を伺いますが、それ以外の場合でも御希望があればいつでも対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0.0	100.0	0.0	機会があれば、別に企画したいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0	0.0	0.0	苦情解決窓口を設置しており、契約時に保護者の方に説明を行っています。 苦情が発生した時にはスタッフ間で原因究明と再発防止策を検討し対応しています。

等 等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0	0.0	0.0		毎月各利用者様の活動内容を、保護者様宛に発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0	0.0	0.0		個人情報は事業所内の、鍵付き書庫にて保管しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0	0.0	0.0		利用者様の性格や特性を把握した上で、一人ひとりに合った対応を取れるよう配慮しています。 また、視覚的、聴覚的、体感的などの方法で理解が深まるかも加味し、その子どもに合わせた伝達方法で意思疎通を図っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60.0	40.0	0.0		現在、近くのデイサービス・老人ホームと敬老の日やハロウィンなどのイベントとして訪問しています。今後状況が落ち着けば、地域交流できる機会も作っていきたいと考えています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0	0.0	0.0		緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し職員に周知し、誰でも見れる様に玄関に設置しています。 不備不足があれば適宜整備します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0	0.0	0.0		施設内の自主訓練は実施しています。 また、消防署に出向き話を聞くなどの活動もしています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0	0.0	0.0		家族を通じてアセスメントし、計画書に記載する様にしていますが、まだ、該当者がいない為、現在対応していません。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80.0	20.0	0.0		家族を通じてアセスメントし、計画書に記載する様にしていますが、まだ、該当者がいない為、現在対応していません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0	0.0	0.0		毎月、月初めに施設全体・全車両・備品及び玩具の安全点検を実施しています。避難訓練も毎月（地震・火災及び不審者対応等）行っています。
非常 時 等 の 対 応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0	0.0	0.0		毎月配布するプログラムに避難訓練の予定を記載し、月末に配布する活動報告にて訓練の様子を報告しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0	0.0	0.0		該当する場合は、事例の報告書を作成し内容を共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0	0.0	0.0		虐待防止研修に参加し、事業所内の意識の共有を図っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100.0	0.0	0.0		身体拘束が必要な場合は、計画書に記載する等の準備はしておりますが、現状、身体拘束を必要とする利用者様はおりません。 しかし、身体拘束に至る可能性は常にありうる事を念頭において、今後の対応を検討したいと考えています。